

国道139号朝霧地区の ゴールデンウィークの渋滞対策について

夙 広夢¹

¹静岡国道事務所 計画課 (〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8-1)

国道139号朝霧地区は観光地が集積しており、ゴールデンウィークに来訪者が集中することによる交通渋滞が課題となっている。このため、AIカメラと道路情報板を活用した経路分散施策を2025年に実施した。その結果、一定の経路転換が見られ、ピーク時の所要時間の減少傾向を確認したが、依然として通常時より所要時間が大きく増加するという課題は残存していたため、2026年のゴールデンウィークに向けて、観光施設や関係機関と一体となって渋滞対策の検討を行った。本論文では、2026年に実施した渋滞対策の取組や結果について報告する。

キーワード 朝霧地区、観光期渋滞対策、AIカメラ、情報発信、地域連携

1. はじめに

静岡県富士宮市北部に位置する朝霧地区では、富士山に見える体験型牧場であるまかいの牧場や、白糸の滝等の観光地が集積している。また、朝霧地区北側の富士芝桜や富士五湖等、山梨県内の観光地へ向かう交通も多いことから、当該地域の幹線道路である国道139号では休日の交通量が多く、特にゴールデンウィークの交通量が年間で最も多くなっている。

「令和6年ゴールデンウィークの一般道路の交通状況について」、ETC2.0プローブデータを用いて分析した結果が本省にて公表（2024年7月10日）され、“特に混雑が見られたエリア”として、富士宮市朝霧地区の国道139号等が抽出された。

ゴールデンウィークの国道139号における混雑は、通常20分程度で通過できる区間（北山IC～猪之頭入口交差点（約13km））で最大約100分の所要時間がかかるなど、当該地区への来訪者にとっても、通過交通にとっても、大きな課題となっている。

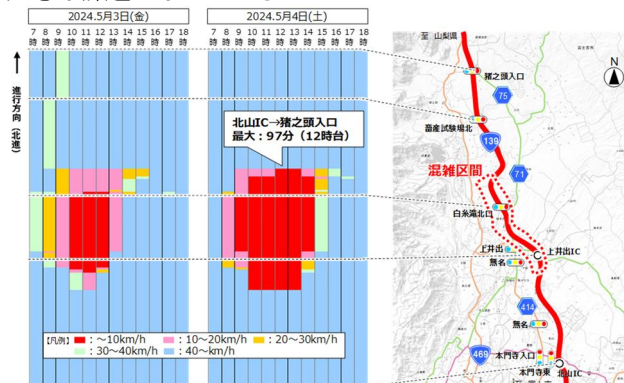


図-1 北山IC～猪之頭入口間の速度・所要時間

そこで、本取り組みでは、地域と連携しながら、国道139号におけるゴールデンウィークの観光渋滞を緩和するための対策を検討・実施した。

2. 2025年の取り組み

(1) 2025年の対策と結果

2024年ゴールデンウィークにおける国道139号と並行する県道の所要時間を分析し、国道139号の混雑時においても、並行する県道の所要時間は半分以下程度であったため、2025年ゴールデンウィークでは、通過交通を並行する県道へ迂回させることで混雑の平準化を目指した。

静岡県や静岡県警察と調整の上、国道139号混雑区間にAIカメラを設置、リアルタイムに混雑状況を把握し、混雑時に静岡国道事務所道路情報センターにより道路情報板を活用して並行する県道への迂回案内を実施した。なお、迂回ルートで著しい混雑が発生しないよう、並行する県道にもライブカメラを設置し、混雑状況を確認した上で迂回案内を行った。

STEP① AIカメラによる速度情報の取得

STEP② 混雑状況の確認・判定



STEP③ 情報提供

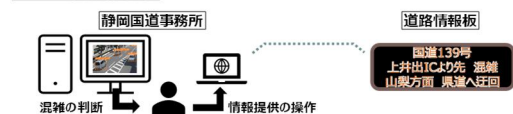


図-2 混雑状況把握～迂回案内の流れ

過年度の当該区間における速度低下状況（速度及び速度低下の延伸状況）を踏まえ、AIカメラによる個車の速度判定結果において、約半数が20km/h未満の状況となった場合に「混雑」と判断した。ゴールデンウィーク7日間（土日祝日）の期間中、連休中日の3日間で「混雑」の判断となり、迂回案内を実施した。その結果、並行する県道への迂回率は前年と比べ5%程度増加したが、国道139号上では、沿道の観光施設駐車場出入りの影響もあり、北山IC～猪之頭入口交差点の所要時間は最大で約90分かかる状況となった。

(2) 2026年の対策に向けた検討

2025年ゴールデンウィークの渋滞対策の結果を踏まえ、富士宮市、静岡県富士土木事務所、静岡県警察富士宮警察署、まかいの牧場、静岡国道事務所からなる朝霧地区観光渋滞対策のコアメンバーにより、2回の合同会議を開催し、2026年ゴールデンウィークの対策方針を検討した。

2025年に迂回率が上がったことから、迂回案内は継続強化することとし、まかいの牧場駐車場出入り箇所における国道139号の交通を円滑化させるため、駐車場出入りの案内を強化すること、駐車場からまかいの牧場への国道139号横断者の抑制を行うこと、またその対策における役割分担を決定した。

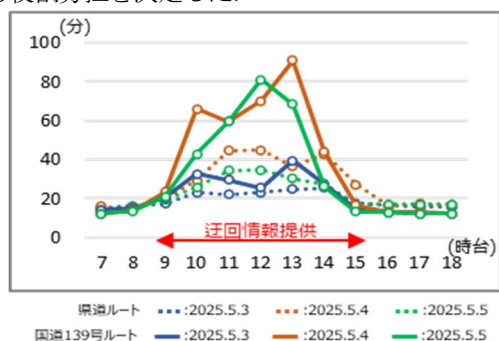


図-3 国道139号と並行する県道の所要時間
(北山IC～猪之頭入口)



図-4 駐車場出入り箇所混雑状況（2025年5月4日）



図-5 国道139号横断歩行者の状況（2025年5月5日）

3. 2026年の対策実施

(1) 実施内容

並行する県道への迂回案内のため、2025年に引き続きAIカメラ、ライブカメラで交通状況を把握し、道路情報板での案内、さらに追加でLED看板での案内を実施した。また、SL看板や横断幕による迂回ルートのご案内も強化した。SL看板、横断幕については、県道・市道への設置を県・市と分担して取り組んだ。

また、まかいの牧場における対策として、国道139号沿いではない位置の臨時駐車場への案内看板設置、出入り車両を捌く誘導員の増員、施設HPにおける広報（ゴールデンウィークの混雑状況、施設来訪時の国道139号以外の来訪経路、各駐車場の満空情報）をまかいの牧場において取り組まれた。また、国道139号の横断者の抑制対策として、国道139号地下道へ誘導するための案内看板の増設や、駐車場出入口の誘導員による声掛けもまかいの牧場において取り組まれた。

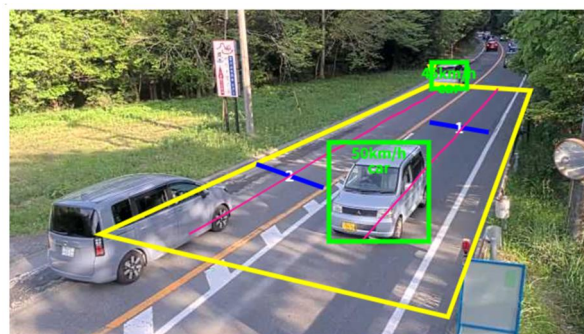


図-6 AIカメラによる速度情報の取得



図-7 迂回案内の情報提供媒体



図-8 駐車場出入り箇所の誘導員（2026年5月3日）

(2) 実施結果

これらの対策を実施した結果、2026年ゴールデンウィークでは、約30%の交通量が増加したにもかかわらず、北山IC～猪之頭入口交差点間の所要時間は通常時と概ね変わらない20分程度に収まり、大きな混雑は発生しなかった。

ゴールデンウィーク8日間（土日祝日）の期間中、後半の連休中2日間において「混雑」の判断となり、迂回案内を実施した。迂回案内実施時間帯は、未実施時間帯よりも迂回率が1.5倍～2倍以上となり、「混雑」の状態も約2～4時間で解消された。

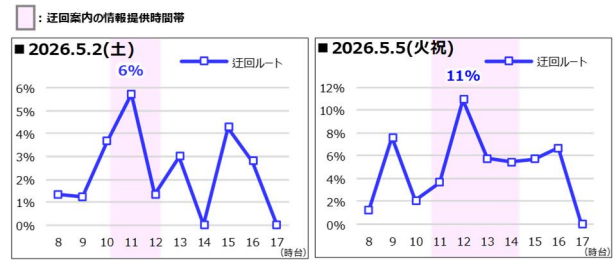


図-9 迂回案内実施日の迂回率

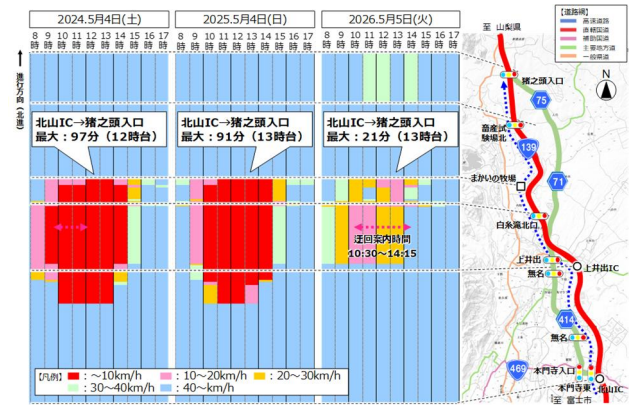


図-10 北山IC～猪之頭入口間の速度・所要時間

	交通量(最大日) (8～17時台)	混雑日	所要時間 (最大)
2025	約6,300台	3日間	91分
2026	約8,000台	2日間	21分

表-1 2025年との比較

4. まとめ

過去のゴールデンウィークに著しい混雑が発生していた朝霧地区の国道139号について、2025年ゴールデンウィークでは、AIカメラ及び道路情報板を活用した迂回案内を実施し、迂回率の向上が確認された。さらに2026年ゴールデンウィークでは、朝霧地区観光渋滞対策のコアメンバーにより対策を検討したことで、SL看板・横断幕やLED看板設置による迂回案内の強化。観光施設のまかいの牧場においては、駐車場出入り案内の強化、国道139号横断者の抑制、加えて駐車場の満空情報発信やSNSやHPでの広報を実施いただいた。その結果、例年のような大きな混雑が発生することなく多くの観光客を地域に迎え入れることができた。

本取り組みでは、AIカメラによる定量的な判断を踏まえた案内と、地域による現場での対応の相乗効果が発揮され、国道139号上の負荷を大きく軽減することができた。また、AIカメラを活用した判断により、道路情報センターにおける混雑状況確認は、短時間かつ属人的になることなく、効率的に行うことができた。

本取り組みで導入したAIカメラは可搬型の機器であるため、観光期の渋滞に限らず、特定の時期・箇所における渋滞対策や、災害時の迂回案内等、様々な場面での活用が考えられる。今後、異なるシチュエーションでも有効活用する方法を引き続き検討していく。

謝辞：本稿の執筆にあたり、パシフィックコンサルタンツ（株）やまかいの牧場をはじめとする朝霧地区観光渋滞対策のコアメンバーに多大なご協力いただいた。ここに謝意を表する。